

## アフリカで村落の給水・衛生の改善に取り組む JICA 研修員が富良野高校の活動から学ぶ(10月31日) ～6か国9名の給水・水衛生行政従事者が富良野市上水道施設で研修～

「きれいな水と衛生へのアクセス」は2015年に採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のグローバル目標の一つとして設定されており、全ての国・地域が2030年までに安全な飲料水への普遍的なアクセス、及び適切かつ平等な衛生施設へのアクセスを確保することを目指しています。

国際協力機構 北海道センター(JICA 北海道(札幌))が10月22日から11月29日の日程で実施中の2024年度課題別研修「アフリカ地域村落給水衛生管理(A)」は、開発途上地域の中でも特に村落部の安全な飲料水へのアクセス率が低く水資源確保が深刻な課題となっているアフリカ地域を対象とし、村落部における適切な飲料水供給や給水施設の維持管理、水衛生に必要な技術や啓発手法の確認を行いつつ、住民参加型で且つジェンダーに配慮した維持管理体制を確立するために必要な知識の拡充を目指す内容となっています。

本年度の研修(仏語圏対象)にはブルキナファソ、中央アフリカ、コートジボワール、マダガスカル、マリ、セネガルの中央政府機関において村落給水および水衛生分野の行政に携わっている9名の研修員が北海道および本州での研修に参加しており、10月31日には以下の視察を予定しています。

- ・日時:2024年10月31日(木) 15:30-17:00
- ・場所: 富良野高等学校
- ・研修内容(予定)

富良野高校科学部が北海道立総合研究機構と連携して取り組んでいる「水資源ナビを利用した簡易水道マッピング」の活動について講義を受け、アフリカからの研修参加者が自身の国々の課題解決に向けた知見の吸収と、科学部生徒との情報交換を行う。



(写真は昨年度の視察(富良野市上水道施設)の様子)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 研修業務課 菅原 清英

TEL:011-866-8393 e-mail : Sugawara.Kiyohide@jica.go.jp